



# 「フレッツ・ADSLサービス」での BA512設定手順

ブロードバンドアクセスルータ



**Broadband Access Router**

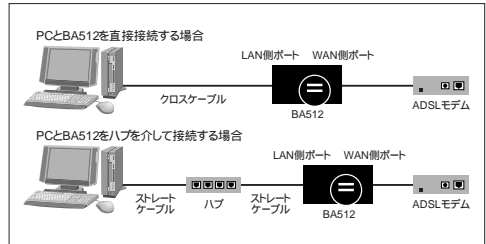
フレッツADSLでご利用の場合、BA512は以下の手順にしたがって設定してください。

## 1 BA512の接続

BA512の背面パネルのLAN側ポート（コネクタの下にLANと記載されている方）にPCまたはハブを接続します。一方のWAN側ポート（コネクタの下にWANと記載されている方）にADSLモデムを接続します。

端末（PC）とBA512のLANポートを直接接続する場合にはクロスケーブルをご使用ください。一方、PC - ハブ - BA512の接続の場合はストレートケーブルでの接続となります。

ADSLモデムとBA512の接続は通常、付属のストレートケーブルをご使用いただけます。上図の接続でBA512のLAN linkランプ、WAN linkランプが共に点灯することを確認してください。



BA512のWAN linkランプが点灯しない場合はADSLモデムとBA512の接続にクロスケーブルを用いるか、またはADSLモデムの背面パネルに『MDI - MDI-X』の切替スイッチがある場合はスイッチをWAN linkランプが点灯する側に入れてください。

## 2 パソコンの設定

Windows 95/98/ME編

Windows 95,98またはWindowsMEが稼動しているパソコンのネットワーク設定手順を説明します。

[コントロールパネル]の[ネットワーク]を開き、[ネットワークの設定]タブにある [現在のネットワークコンポーネント] リストの中の “TCP/IP > (ネットワークカード名)” を反転表示し、[プロパティ] ボタンを押してください。

[TCP/IPのプロパティ] が表示されます。



[ IPアドレス ] タブの [ IPアドレスを自動的に取得 ] を選択してください。



[ DNS設定 ] タブの [ DNSを使わない ] を選択してください。



OKボタンを押して、BA512を接続した状態でパソコンを再起動してください。

## Windows 2000編

[ コントロールパネル ] の [ ネットワークとダイヤルアップ接続 ] の [ ローカルエリア接続 ] を開いてください。次に [ プロパティ ] ボタンを押して [ 全般 ] タブのリストの中の “インターネットプロトコル (TCP/IP)” を反転表示させ [ プロパティ ] ボタンを押します。



[ IPアドレスを自動的に取得する ] と [ DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する ] を選択してください。



OKボタンを押して、BA512を接続した状態でパソコンを再起動してください。

## Mac編

MacOSに標準で導入されているOpen Transportでの設定手順を説明します。MacOSのバージョンによっては若干操作方法が異なる場合がありますが、同様の操作を行ってください。

このパソコンのIP設定を、本製品のDHCPサーバ機能を使って自動的に割り当てます。[ コントロールパネル ] の [ TCP/IP ] を開き、[ 経由先 ] を “ Ethernet ”、[ 設定方法 ] を “ DHCPサーバを参照 ” に設定します。

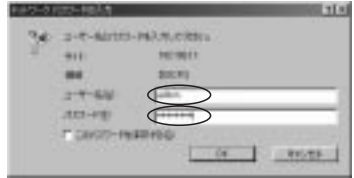


設定が終わったら [ TCP/IP ] ウィンドウを閉じてBA512を接続した状態でパソコンを再起動してください。

### 3 BA512の設定

パソコンが起動したらブラウザを立ち上げ「http://192.168.1.1」へアクセスしてください。

パスワードの入力画面が現れます。ユーザ名に「admin」をパスワードに「password」をそれぞれ半角小文字で入力してOKをクリックしてください。（パスワード入力画面が現れない場合はブラウザのプロキシの設定がオフ（使用しない）になっていることをご確認ください）



左側のメニューから [ 詳細設定 ] [ WAN IP設定 ] を選択してください。



サービスタイプから [ PPPoE接続 ] を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。

再起動画面が現れますがここでは再起動なくて結構です。



もう一度左側のメニューから [ 詳細設定 ]  
[ WAN IP設定 ] を選択します。  
続いて [ オプション ] の [ PPPoE接続の設  
定 ] を選択します。



- ・ログインユーザ名の項にお客様のログインIDを、パスワードの項にパスワードを正確に入力してください。  
(大文字・小文字、全角・半角にご注意下さい)
  - ・サービス名は半角英数字で適当な名前(例: ADSL)を入力してください。
  - ・サービスオンデマンドは「有効」にしてください。
  - ・自動切断時間は通信が一定時間行われないと自動的に切断するものです。  
出荷時は(5分)に設定されています。0にすると自動切断機能がオフになります。
  - ・IPアドレスネゴシエーションは「有効」にしてください。
  - ・固定IPアドレスはすべて0のままで結構です。
- 「設定」をクリックし、ここで保存&再起動を行ってください。



以下の設定はご使用のファームウェアのバージョンが5.10.52nか、より古い(数字が小さい)場合に行ってください(バージョンは設定画面左上のロゴの下に記載されています)

左側のメニューから [ 詳細設定 ] [ LAN IP設定 ] を選択します。

DHCPサーバ機能の項にあるプライマリDNSとセカンダリDNSにプロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。

画面左下の「設定」をクリックして保存&再起動を行ってください。



BA512が再起動したら左側のメニューから[その他] [PPPoE接続診断]設定を選択してください。

[接続&診断]をクリックし、しばらくして“Service is connecting now”のメッセージが最下行に表示されればプロバイダとの接続は完了です。

パソコンを再起動し、ブラウザを立ち上げ、適当なURL ( <http://www.yahoo.co.jp>等 ) を入力しインターネットへ接続できることをご確認ください。ハブに他のパソコンを接続する場合はそれぞれ「2 パソコンの設定」に従い設定を行い、BA512に接続した状態で再起動すればOKです。



#### 4 その他

フレッツADSLへの接続においては以下の点にご注意ください。

フレッツに接続中にBA512の再起動をするとNTTの網内装置で不正切断と判断され数10分間再接続を行えませんのでご注意ください ( NTT東日本で10分、NTT西日本で20分程度 )。再起動をする前に必ず「その他」メニューの「PPPoE接続診断」画面で「切断」を押してください。

BA512の最新ファームウェアはBA512ホームページ ( <http://www.ntt-me.co.jp/bar> ) の「ファームウェア」のコーナーからダウンロードすることが可能です。

現在BA512に搭載されているファームウェアのバージョンは設定画面左上のロゴの下に記載されていますのでご確認ください。